

## 会 議 録

### 1 会議名

令和6年度 第7回春日区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的な審議事項について

#### (2) 報告事項（公開）

- ・地域独自の予算事業の一覧について

### 3 開催日時

令和7年3月12日（水）午後6時30分から午後7時47分まで

### 4 開催場所

上越市市民プラザ 第一会議室

### 5 傍聴人の数

1人

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員：飯田委員、池亀委員、市川委員、上野委員、折橋委員、瀧本委員、田中会長、田邊委員、原委員、本多委員、松澤副会長、山谷委員、吉田(実)委員、吉田(義)委員、渡部委員（欠席4名）

- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、鈴木主事

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【井守副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

#### 【田中会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

#### 【井守副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

#### 【田中会長】

- ・会議録の確認：瀧本委員に依頼

次第3 議題「(1) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

#### 【渡邊係長】

- ・前回の会議で、協議の進め方について具体的に説明してほしいとの意見を踏まえ、毎回、第5回地域協議会で示した資料「自主的審議までの流れ」を用いて現在地を確認していきたい。
- ・まず、現在行っている「地域のコミュニティ」について意見出しを行うことになった経緯をおさらいする。
- ・今期は「春日区について知る」ことの研修からスタートし、春日山周辺に関する研修後、委員から「もっと知りたいこと」を挙げてもらったところ、地域のコミュニティに関する意見が多かった。
- ・しかし、分野が多岐にわたることから、委員各々が考える地域のコミュニティについて伺ったところ、春日区の強み・弱みが見えてきたため、意見を深掘りしている。
- ・この意見を参考に今後、必要な委員研修を行いたいということが当初の目的。
- ・また、この意見がそのまま地域課題に結び付いているため、第5回資料のStep2、3に当たる課題整理までを並行して実施することとした。
- ・今後、Step4では、複数出された課題から取り組むテーマの優先順位を決定し、Step5でいよいよ課題の協議をスタートする。
- ・前期は「テーマを何にするか」という始め方だったため、2期目以上の委員には少し歩みが遅く感じられるかもしれないが、今期は協議時間を多く確保できるので、丁寧に進めていると思っていただきたい。

#### 【田中会長】

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

質問が無いようなので、春日区の将来の「弱み」をカードに記入後、各委員から発表してもらおう。全員の発表後に意見交換を行う。

### 【田邊委員】

今すぐの心配ではないが、子供たちが高校を卒業すると県外や市外に出て行ってしまふ。そうするとまた高齢者だけになり、将来春日区がどうなるのか心配だ。

### 【瀧本委員】

空き家になりそうな家が気になる。数年後、我が家も含めて近所の数軒が空き家になると思い心配している。

また、私個人のことになるが、子供が幼稚園から中学生のときは、PTAの役員等のつながりがあり、地域の人ともつながっていたが、今は子供も大きくなり、自分が今度、地域とつながるにはどうしたらいいのか不安である。いろいろな行事に参加すればいいと思うが、もしかしたら参加しづらいと思う人が沢山いるのではないか。では、どうしたらいいのか。思い切って参加するしかないが、そこは自分も含めて、どうしたら参加しやすいか、どうしたら人を誘えるかということこれから考えていきたい。

### 【折橋委員】

春日区の中でも岩木は大変雪が多い。今回の大雪でも除雪がかなり大変で、このまま年を取ったら除雪できるのかと心配になった。諸先輩方が除雪されているので、何とかなると思うが、かなり不安を覚える冬だった。

また、岩木は道も狭く危ないところもあり、交通事故も心配だ。

### 【上野委員】

雪も含めて「災害が起きたらどうするのか」ということが不安。隣近所にひとり暮らしの方もいる。空き家もある。安全と安心を一緒に考えると大変で、今回の雪の場合は、安心面ではお互い声をかけながら除雪し、コミュニケーションを取ったつもりだが、安全面に関しては、この雪をどうするのかという話にもなる。地震、雨、雪、この間、山火事もあったが、起きたらどうするのかを全体で協議すべきと考える。避難所はあるが、地域の皆が避難所に逃げれば、春日中学校、春日小学校、高志小学校がいっぱいになり、絶対にあふれるのが目に見えているので、その時どうするのか不安だ。ひとり暮らしの高齢者や車椅子の方は逃げられないという話もあり、協議できればと思う。

また、春日中学校の生徒たちや先生方と交流する場が多く、中学生の活躍する場所や、もっと地域活動に参加したいという声があり、内容についてはこれから協議できればと考える。私もPTAをやっていた。離れるとだんだん分からなくなるが、関わることもできる。高校卒業後に地域から出た人たちが、また戻ってくるような交流を小中高のう

ちにしておかないといけないし、大人の世代も絡めるような場が欲しい。春日区は広いが場所が無い。謙信交流館を上手く活用できるとよい。ロビーでは高校生が勉強している。あの子たちが、中学生の勉強を見てくれて、高校の実情を話してくれて、調理室もある。公民館事業で何か行事をやってくれているということで、あの場がいいのではないか。

さらに、中学生の発信する場がない。交流館にモニターもないので、せっかく行った活動が実は見えていない。育成会議で発表しても一部しか見ることができない。交流館にモニターがあればいい。活躍する場ができ、大人の目が必要であれば、元PTA役員などが集まり交流できる。子供たちプラスアルファの交流する場があり、活躍している情報を発信できる場があればいいと思う。

#### 【市川委員】

春日区は、28区の中で一番人口が増えている地域ではないかと思う。その中で、昔から住んでいる方と区外から入って来られた方とで考え方が分かれている。また、春日区で昔の伝統を伝える人が少なくなっている。それをいかにして若い人に伝えていけるか、非常に不安。今は昔のように祖父母と住んでいる方は少ない。子供が結婚すると家から出て、核家族化が進んでいる。高齢者が残り、一人になると、施設に入り空き家が増える。空き家が増えると災害等で非常に不安になる。新しい方と後から住まわられている方とのコミュニケーションが非常に取りづらい時代になっている。私たちの考えを押し通すわけにはいかない。今の若い方は個人的に動くのは好きだが、団体で動くことが非常に苦手で、嫌だという人が非常に多い。町内の行事をやっても参加される方は少なく、春日区が将来どうなるのかと非常に不安だ。

#### 【池亀委員】

高齢者のみの家族の増加が著しい。私の住んでいる班は世帯数が非常に多く、新しく入ってきた方と長く暮らしている方との隔たりが非常に大きい。班で新年会をすると、昔はほとんどの方が参加していたが、最近では20人出てくればいいところで、皆さんの心が一つになれない。これから班長になる方も大変で、いかにしてそういう人たちをまとめていくのか、町内としては大事な課題だ。

高齢者世帯が増え、皆、家でテレビを見ているだけ。趣味を持つこともこれから大事になっていく。私は絵画をやっているが、老人趣味の家で受講者を募集しても新しい人が全く入ってこない。

### 【飯田委員】

空き家や高齢化は皆さんも感じていることだと思うが、私の実家がある地区は、既に限界集落で、それに比べれば春日区は夢みたいなところ。こうして皆さんが集まって協議する、これができるだけでも素晴らしいこと。限界集落になってしまうと、そういうことができない。

空き家が増える、高齢化が進む、人手が足りないなど、話を聞いていると限界集落と同じことを発言されている。言わんとすることは同じことなのか。私の実家の地区では若い人にどうやったら入ってもらえるかを考えている。いろいろなイベントを開催し、顔見知りになってもらうことを淡々と繰り返すしかない現状では思っている。

### 【原委員】

町内会の役員、特に三役のなり手がなく、一時期懸念した。私は公務員だったので、退職後、なり手がいないと言われれば地域への恩返しとして、役員を2期4年務めた。ただ、それが10年とか12年と言われるとまた様子が違うが、短期であれば、住んでいる以上はやらなければならないと考えていた。行政の職員は、それなりに能力があるので、退職後は何期でもいいので町内会の役員をぜひ受けて地域に還元してもらいたい。

### 【本多委員】

春日区には小学校が2つあるが、昔から温度差がある。特に謙信公祭では、春日小学校区の方はものすごく一生懸命。高志小学校区の方はどちらかというと遠いから、春日小の人が頑張っているから自分たちは後に付いていくという感じを受ける。同じ地区なのだから、同じ考えで一緒にできるといいと思う。私も元気なうちに一緒に頑張りたい。

### 【山谷委員】

図書館がない。子供たちの自習スペースが、高田図書館や直江津図書館にはあるが、春日区にはない。謙信交流館にスペースはあるが、テスト前は混み合う。

中学校の部活動の時間が減少したため、公園で中学生がたむろしていることがある。天気が悪いときは、留守宅にたむろしていて心配。せっかく交流館があるのだから、そこに集まり、子供たちや他の高校生、高齢者も集まり交流できるようになればと思う。

### 【吉田(実)委員】

私は去年、老人会に入会したが、前の会長が体調を崩し、コロナ禍もあって活動が完全にストップした。これから少し立て直していかなければいけない。近所の人を老人会に誘うが、まだいいと断られてしまい、今いる人たちは、80歳ぐらいで、活動を引っ張

っていくよりも、付いてくるのがやっとの人たちばかり。地元の老人会を盛り上げていきたいと思うが、私一人ではどうにもならない。大豆の老人会の話を知ると、とても活動が活発で麻雀クラブやカラオケをしている。会長も10年くらいやっているのでリーダーシップがとれている。木田の老人会は旅行に行くなど、いろいろやっていて、そういうお手本になる場所を参考にしていきたい。

このほか、いきいき春日野の健康体操や体力測定などを参考に、町内単位のサロンのような活動もしていきたい。私は蕎麦を打ち、歌も歌うので、いろいろな魅力ある老人会にしていければと思う。

#### 【吉田(義)委員】

コミュニティを形成するには、できるだけ町内行事に参加しやすい環境が必要。PRもしているが参加する人は少ない。まず人柄が分からないと活動できない。それについていかに取り組んでいくかが課題。その背景は、我々の世代の家族構成として、私の場合は子供や孫と一緒に暮らしていたが、孫たちは市外に出てしまい戻ってこない。すると、私は妻と2人でどのように生活していくのかという課題が出てくる。そうすると、この地域でのコミュニティが必要になる。最近、近所付き合いが希薄になり、家族構成も変わってきている。この年齢になると、町内行事などに自分から入ることができない。機会を多く作ってもらわないと入っていけない。人と人とのつながりを広げていかないと、空き家や高齢化の問題は進まない。

#### 【渡部委員】

弱みは、人材豊富の割にはリーダーがいない、なり手がいないこと。春日区の区長は誰かと言われたら、それらしい人はいない。先日、頸城区に行ったが、頸城区にいる人からは区のために頑張らないといけないという気を感じた。

また、実行能力がないことも弱み。それぞれ小さなことは結構やるが、まとまってやることができない。災害対応や高齢化対応に関しては、実行能力不足。自分が春日区を背負っていくという責任感のある人が不足している。

#### 【松澤副会長】

10年前の大豆は空き地が多く、遠くの家も見えるような所だったが、ここ10年で空き地がほとんどないぐらいに家が建ち、私より若い方も多く住んでいる。逆に人が増えすぎて、どのような方が住んでいるのかよく分からないなど、付き合い方が分からない。

今年は雪が降ったが、ひとり暮らしをされていて、病気のため手助けが必要な人や、

除雪の手助けが必要な人もいるので、どういう人が住んでいるのかを把握して、手助けをしたい。逆に私が助けてもらう可能性もある。

**【田中会長】**

この地域協議会もそうだが、能力が高く知識が豊富な方が多い。でも、そのような人たちをこの地区はいかしくしているのか。その人たちが活躍できる場や、アイデアがもっと発揮でき、多様な人たちをいかしきれる地域になっていないことが、弱みと考える。

今までの発表について、質問を求める。

**【上野委員】**

いきいき春日野の活動は、実行委員会が進めていくのか。実はあの音楽の場に今後、期待しているところもあり、どのようにしているのか教えてほしい。

**【渡邊係長】**

いきいき春日野は、数年前に実行委員会を組織した。春日野町内会からも動いていただき、その意志を継ぐ方もいらっしゃる。安心して皆さんも参加していただきたい。

**【上野委員】**

先日、春日中学校の校長先生と部活動の地域移行の話をした。春日中学校合唱部が無くなって、今後、歌を歌いたい生徒には、いろいろな地域やクラブ活動を紹介していると思うが、いきいき春日野では合唱や演奏を行うほか、上越教育大学とも連携している。中学生が活躍できる場が増えることを望む。

**【渡邊係長】**

この事業の経緯自体が、まずは地域と中学校をつなげたいというところから始まったので、中学生の参加は欠かせないと聞いている。部活が無くても参加できるような仕掛けを考えていたので、その点は新しい実行委員会のメンバーにも再度確認する。

**【田中会長】**

合唱したい生徒たちが歌えるようにサポートができるといいと思う。

他に発言はあるか。

**【折橋委員】**

先ほど地域のコミュニティに入りづらいという意見があったが、若いうちから入った方がいい。20代のよく分からないうちに入った方がいいのと、40代、50代になると、新しいところになかなか入りづらいし、ましてや60代、70代になると更にそうなる。年を取ればだんだん孤独になっていくので、なるべく若いうちに歩いていける距離に仲間が

いた方が絶対に良い。そういうことを若い人に伝えていきたい。昔は飲みにも行ったが今は行かなくなり、歩いて近所の家にも月2~3回飲みに行っている。そうすると大体8人ぐらい集まって飲んでいる。そういう仲間がいた方が将来的に孤独にもならない。若いうちから入った方が良いと伝えていきたい。

**【田中会長】**

同級生の友達ということか。

**【折橋委員】**

家を建ててから知り合った人たちばかりで、仲良くしているのは15人程いる。集まるのは、その日に来ることができる人だけで、大体8人ぐらい。そういう仲間が、歩いて10分ぐらいのところにいるのは心強い。

**【田中会長】**

町内会のつながりで仲間を作るのは、なかなか難しいのか。

**【本多委員】**

昔の老人会は、だいたい60歳になると半ば強制的に入っていたが、今は70歳になっても元気なうちは入らない。文化活動、スポーツなどは元気なうちでないと活動は無理。私は運動が好きで、運動しながら皆さんと会話することが良いので、早いうちに入ることを勧める。

また、老人会を名乗らない会もたくさんある。それは各町内会で考えればいい。

**【池亀委員】**

折橋委員に伺う。岩木では、新しい町内会がいろいろな行事やっているが、どういう組織でイベント等を開催しているのか。

**【折橋委員】**

町内会が資金を出し、1丁目と2丁目が合同で担っている岩木協力隊が主体となって活動している。岩木協力隊も、やはり40代、50代中心になってきている。

**【上野委員】**

子供会、育成会、親の世代の方とも話したが、子供会に入ってくれる町内会が減っている。どの世代もなかなか人が集まらない。老人会だけではなく、子供会でも苦慮している。ただ、子供会からコミュニティが広がると考えている。子供が集まると親も集まる、青年会も集まるので、まず、子供会を何とかしないと、老人会だけではない気がする。子供会を助けてほしいというのも各町内の実態。育成会で役員をするのが嫌だから

という理由で入らないという話も聞いている。何とかそうならないようにコミュニティを作っていきたい。

#### 【渡部委員】

今年から老人会の会長をしている。1月1日の地震のときに、テレビが逃げろと言うから、ひとり暮らしの高齢者が逃げようとしていた。ハザードマップを確認すると津波は大丈夫なところ。私は何人も止めた。ひとり暮らしになった時に自分の家があるなら、できればそのまま一人でも生活していきたいと思うのが普通。ところが、今はいられない状況ではないか。

老人会では、ボッチャと輪投げをやっている。私が町内会長の時に、いきいき春日野サロンを作った。町内会館まで歩いて来た人がお茶を飲んで帰る場。一人になっても誰かとつながるような老人会にしたい。

#### 【田中会長】

他に意見はないか。

(発言無し)

今後のスケジュールを確認する。事務局の説明を求める。

#### 【渡邊係長】

- ・春日区地域協議会としての意見がある程度固まってきたので、資料の下部に記載のあるとおり、地域の皆さんが考える「春日区の将来の地域コミュニティ」を確認し、委員の意見と擦り合わせることを提案。
- ・これは、現在保留している委員研修の「地域の声を聞く」に相当する作業となる。
- ・想定される「地域の意見」の対象は、町内会を始め、活動団体、中学生や大学生であるが、これについては今後、皆さんで整理していただきたい。
- ・また、将来の強み・弱みに、現在の強み・弱みをどういかしたいか、克服したいかなど、一旦持ち帰り、会長・副会長と協議し、次回示したい。

#### 【田中会長】

ただ今の説明について、意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第3議題「(1) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第3議題「(2) 報告事項」の「地域独自の予算事業の一覧について」に入る。

事務局の説明を求める。

**【渡邊係長】**

- ・令和 7 年度の市の当初予算案を公表したので、上越市地域独自の予算事業実施要綱に基づき、地域協議会に地域独自予算事業の内容を情報提供するもの。
- ・資料No.2 に基づき説明
- ・内容は、市議会 3 月定例会での議決をもって成立することから、あくまで予算案であることをご了承いただきたい。
- ・なお、地域協議会委員が事業の審査等を行うものではなく、今後の協議に当たり、地域でどのような団体が、どのような事業を実施しているかを把握し、参考にさせていただきたいことから情報提供するものである。

**【田中会長】**

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第 3 議題「(2) 報告事項」の「地域独自の予算事業の一覧について」を終了する。

次に、次第 4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

**【井守副所長】**

- ・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・次回の地域協議会：4 月 9 日（水）午後 6 時 30 分から

上越市市民プラザ 第一会議室（予定）

**【田中会長】**

ただ今の説明について、意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第 4 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第 4 その他の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

**【渡邊係長】**

- ・地域自治プロジェクトにおける各検討項目の方策案等の公開について説明

**【田中会長】**

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

他に何かあるか。

【吉田(実)委員】

・通年観光計画の報告会について、他の委員にも資料配布を提案。

【田中会長】

事務局と協議する。

他に何かあるか。

(無しの声)

・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。